

地域おこし協力隊を卒隊して

卒隊メッセージ（筆：毛利 精悟）

毛利さんは2023年より、町のプロモーション活動や事業承継・起業を目的として、地域おこし協力隊に就任され、3月で卒隊となりました。そこで、毛利さんからのメッセージを掲載します。

はじめに

3年間の協力隊期間を終え、この4月から「地域プロジェクトマネージャー」として、町の商工観光課に所属しています。観光振興が主なプロジェクトです。

埼玉県越谷市出身の妻と共に鶴田町に転居して3年、妻は鶴田町での生活にとっても満足しています。

鶴田町の満足ポイント

①【普段の買い物が便利】

地元スーパー玉井をはじめ、スーパーの数と場所が適切で、ドラッグストアも2つある。ホームセンター的な品ぞろえもある。

②【交通ストレスがない】

交通量が少なく、渋滞しない。信号機が少なく、赤になっている時間が短い（実際に計ってみました。都市部より信号が変わる間隔が短いです）

③【都会的な雰囲気も近い】

エルムの街や柏のイオン（地元の人は今でも『ジャスコ』と呼ぶ人が多い）まで車で10分～15分で行ける。五所川原には全国チェーン店もある。

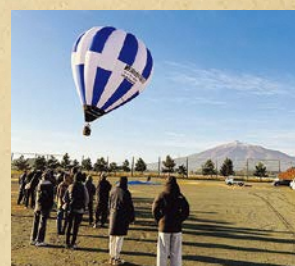
④【何と言っても豊かな自然】

とがった岩木山が裾野まで見渡せる。四季折々の様々な表情を見せてくれる田園風景。冬には白鳥やガン、カモなど多種の渡り鳥が見られる。

ネット環境があれば今は何でも手に入りますし、鶴田町で物質的に困ることはほとんど感じません。一方で『空家の増加』車を手放した後の『公共交通』など、「これが解決できたらなあ」ということもあります。



子ども向けイベント
「水ドン」のようす
（主催：ミコプロ）



「熱気球係留搭乗
体験」のようす



かわいそうな姿の
鶴のモニュメント

なんとかしたい！ポイント

そして移住してからずっと気になっているのが、『鶴寿公園近くの鶴のモニュメント』です。

せっかく素敵な場所にあるのに、近くで見るとみすぼらしく壊れています。役場に聞いても所有者・管理者が不明なので、修繕することもできない。所有者の許可があれば直してあげたい。直したら素晴らしいフोटスポットになると思うのです。

どなたか所有者をご存じないでしょうか？

結びに

青森市、十和田市、五戸町、弘前市、埼玉県と、親の転勤もあり様々な場所に住みました。

どこに住んでもプラスとマイナスがあると思いますし、若い時と歳を重ねてからでは、望む環境も変わるかもしれません。大切なのは「どこに目を向けるか」だと思っています。

今後は鶴田町の観光分野の振興に関わってまいります。ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



2025年8月
「らぼキャン」
のようす